

様式14

指定管理者の評価に係る合議の概要

施設名	箕面市立みのお市民活動センター
指定管理者名	特定非営利活動法人市民活動フォーラムみのお
開催日	平成30年(2018年)9月6日(木)
開催場所	箕面市立みのお市民活動センター 会議室
合議の出席者	Don Don Eigo Circle ギャグナーみどり 氏 特定非営利活動法人ママトリエ 小西美由紀 氏 ナルク箕面、みのお園芸ファーム 嶋隆夫 氏 ちまちま工房 永田千砂 氏 シーエスエス 米田和男 氏

【概要】別添のとおり

内容

平成30年9月6日（木）に箕面市立みのお市民活動センター（以下「センター」）会議室において、指定管理者の評価にかかる合議を実施しました。その中で以下のようなご意見を合議メンバーからいただき、指定管理者から説明がありました。

1 意見

- 毎回、アンケート結果に鏡がほしいという意見が出てくる。用意ができない理由があるなら、きちんと説明した方がいいのではないかと。

（説明）

例えば割れないフィルムミラーを壁一面に設置すると、経費がかかるため、動きあぐねています。姿見はあるので、どのような鏡を希望されているのか、確認する必要があると思います。

- 子ども連れの会議をしたときに、プレイルームのおもちゃとマットの古さが気になった。結局、こちらが持ってきたおもちゃを使用することになった。

（説明）

衛生面には気をつけて拭いたりしていますが、どこかのタイミングで新品にしなければとは考えています。どのようなおもちゃがよいか、教えていただければと思います。

- アンケートに珈琲150円が高いという意見があったが、市民活動を支援するための付加価値という説明を聞けば、理解できる。そのような説明を書いたらよいのではないかと。

（説明）

簡単には書いていますが、詳しく書いたものを用意したいと思います。

- 名称が分かりにくいという意見があったが、例えば15周年のキャンペーンとして愛称を公募するなど、アピールすることで認知度を高めてはどうか。

（説明）

2018年10月に15周年になります。15周年の企画として、センターを周知することは良いアイデアだと思います。

- 地震発生時、自閉症や肢体不自由児、3時間おきに授乳が必要な乳児等、一般の避難所に行きづらい方の避難所として、センターが利用できないかと。部屋が分かれているので福祉避難所として考えられないかと。

また、そういった方々を支援している団体のネットワークでできることがあるのではないかと。

（説明）

今回の地震では、センターが入っている建屋全体が立ち入り禁止となっていました。地震発生後、使用可能であれば、センターを活用することも考えていきたいです。

- 協働につながるような情報交換の場がほしい。市民活動団体がFacebook上でイベント情報や困りごとをシェアしている例もある。

（説明）

団体同士のマッチングはしていますが、個別につなぐものとなっています。それに加えて団体同士が自分たちで出会える場がある、ということも効果があると思うので検討したいと思います。

様式 14

- ・指定管理者として非常に満足している。
他市の施設を利用して見て、センターや市等の対応があたり前だと思っていたが、良い対応をしてもらっていると分かった。
箕面は色々な活動が繋がっていて、つながりが見えると活動しやすい。
まだ漠然としたプランしかない状態から応援してくれるのがとてもありがたい。
また、センターは、思ったことがすぐかたちにできるので、すごい。

2 総評

アンケートの利用者満足度は概ね高く、全体的に好意的な意見をいただきました。

一方、センターの認知度の低さについては、従前より指摘されているところであり、市民活動の裾野を広げるためにも、センターを知らない人にどのようにアプローチしていくかは重要な課題であると再認識しました。

施設管理だけでなく、利用者に寄り添い市民活動を支援し、様々な活動のつながりをつくるという役割を果たしている点から見ても、総じて指定管理者として円滑かつ良好な運営を行っている、市として評価します。